【研究会会員限定】JBA創薬モダリティ基盤研究会

バイオスペリア時代の次世代抗体ビジョン

開 催 日 時 ：2021年1月6日（水）14時～14時50分

セミナー形式：Zoom配信（定員90名、JBAwebページにて受付）

主　　催 ：(一財)バイオインダストリー協会
創薬モダリティ基盤研究会

【ご講演40分、質疑応答10分】

講　　師：津本　浩平氏
（東京大学大学院工学系研究科
バイオエンジニアリング専攻 教授）

抗体は抗原分子を高い親和性と特異性によって認識するため、バイオ医薬品や診断薬として多様な用途に使われている。近年、抗体医薬を中心としたバイオ医薬が医薬品売上高上位を占めるようになり、一方で次世代の抗体には物性の改良（バイオベター）、さらなる高機能化（バイオスペリア）が求められるようになっている。

抗体の抗原認識を中心とした様々な物性について、「抗体を知る」「抗体をさがす」「抗体を作りかえる」という3つの視点から、多角度的な解析、エンジニアリングを行うことで、新時代に求められる抗体分子の創製に寄与できる。

講演では、新時代・バイオスペリア時代における、次世代抗体の前提と課題、次世代抗体に必要な技術開発要素、必要な施策（設備、サービス、戦略、プラットフォーム）などについてご講演いただく。

Zoom参加： JBAホームページよりお申し込みください。

締　　切：2021年1月4日(月) 12時

お 問 合 せ ： (一財)バイオインダストリー協会
（担当：渡邊、岸本、橋本、矢田）